

私立大学図書館協会

2010 年度東地区部会
部 会 総 会
館 長 会
研 究 講 演 会

2010 年 6 月 11 日 (金)

於：明星大学

私立大学図書館協会 2010年度東地区部会総会、館長会、研究講演会資料

目 次

<部会総会>

部会総会次第	1
--------------	---

I 報告事項

1. 2009年度東地区部会報告	
1-1 部会	5
1-2 研究部	8
2. 2009年度協会関係会務報告	12
3. 2010年度私立大学図書館協会委員会および協会関連団体等委員	28
4. 私立大学図書館協会組織図	31

II 協議事項

1. 2009年度東地区部会決算報告及び監査結果	35
2. 2009年度東地区部会研究部決算報告及び監査結果	36
3. 2010年度東地区部会事業計画（案）	37
4. 2010年度東地区部会予算（案）	38
5. 2010年度東地区部会研究部活動計画（案）	39
6. 2010年度東地区部会研究部予算（案）	40

<館長会>

館長会次第	41
-------------	----

<研究講演会>

研究講演会次第	43
講演「研究者の情報行動と学術情報流通の現状と将来：図書館としてどう考えるのか」資料	45
講演「研究者・学生・大学にとっての10年後の大学図書館とは」資料	49

<出席者名簿>	53
---------------	----

私立大学図書館協会 2010年度東地区部会
総会次第

日 時： 2010年6月11日（金） 10:00～12:00

会 場： 明星大学 大学会館3階会議室

開会の辞	司会者（会場校）	明星大学図書館参事	矢部 暁一
開会の挨拶	部会長校	青山学院大学図書館長	山本 吉宣
挨拶	会長校	関西大学図書館長	北川 勝彦
挨拶	会場校	明星大学図書館長	阿部 克己

議長選出 司会者（会場校） 明星大学図書館参事 矢部 暁一

開会宣言 議長

総会成立状況

新規加盟校紹介

<議 事>

- I 報告事項：1. 2009年度 東地区部会会務報告及び研究部活動報告
2. 2009年度 協会関係会務報告
3. 2010年度 協会委員会及び協会関連団体等委員
- II 協議事項：1. 2009年度 東地区部会決算報告及び監査結果
2. 2009年度 東地区部会研究部決算報告及び監査結果
3. 2010年度 東地区部会事業計画(案)及び予算(案)
4. 2010年度 東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)
- III 承合事項
- IV 懇談事項
- V その他

閉会の辞 司会者（会場校） 明星大学図書館参事 矢部 暁一

I. 報 告 事 項

1. 2009年度 東地区部会報告

1-1 部会

(1) 東地区部会加盟校数 259校 (2009年8月27日総会承認)

2009年度新規加盟校

植草学園大学 (2009年 1月27日受理)

こども教育宝仙大学 (2009年 5月 7日受理)

日本赤十字秋田看護大学 (2009年 5月28日受理)

浜松学院大学 (2009年 6月15日受理)

2010年度新規加盟校(予定) 2010年6月1日現在

横浜美術大学 (2010年 5月14日受理)

東北文教大学 (2010年 5月17日受理)

仙台大学 (2010年 5月18日受理)

2010年度脱退校(予定)

静岡英和学院大学 (2009年 5月18日受理)

静岡文化芸術大学 (2009年11月27日受理)

(2) 東地区部会総会

日時：2009年6月12日(金) 10:00~11:45

会場：獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂

出席校：93校(出席者：143名) 委任状：160校 合計253校

欠席校：2校

司会：会場校 獨協大学図書館事務課長 羽田 洋一

開会挨拶：部会長校 青山学院大学図書館長 山本 吉宣

挨拶：会長校 関西大学図書館長 市川 訓敏

挨拶：会場校 獨協大学学長 梶山 皓

議長選出：司会者 獨協大学図書館事務課長 羽田 洋一

開会宣言：議長 玉川大学図書収書課長 武林 輝暁

報告事項：

1. 2008年度東地区部会会務報告及び研究部活動報告

2. 2008年度協会関係会務報告

3. 2009年度協会委員会及び協会関連団体等委員

協議事項：

1. 2008年度東地区部会決算報告及び監査結果

2. 2008年度東地区部会研究部決算報告及び監査結果

3. 2009年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)

4. 2009年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)

(3) 東地区部会役員会

1) 2009年度第1回役員会

日 時：2009年4月17日（金） 15:00～17:00

会 場：青山学院大学 総合研究所ビル 11会議室

報告事項：

1. 東地区部会関係
 - (1) 2008年度東地区部会会務報告
 - (2) 2008年度東地区部会研究部活動報告
2. 部会関係及び協会関連
 - (1) 2009年度第1回常任幹事会報告

協議事項：

1. 2008年度東地区部会決算及び監査報告について
2. 2008年度東地区部会研究部決算及び監査報告について
3. 2009年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）について
4. 2009年度東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）について
5. 2009年度研修委員について
6. 2009年度東地区部会総会・館長会及び研究講演会の開催（案）について

懇談事項

1. 東地区部会役員校、総会当番校の選出について

2) 2009年度第2回役員会

日 時：2010年1月29日（金） 15:00～17:00

会 場：青山学院大学 総合研究所ビル9階 15会議室

議 事：

報告事項：

1. 東地区部会関係
 - (1) 2009年度東地区部会会務報告（4月-12月）
 - (2) 2009年度東地区部会研究部活動報告（4月-12月）
2. 部会関係及び協会関連
 - (1) 2009年度第2回常任幹事会報告

協議事項：

1. 2009年度東地区部会中間決算
2. 2009年度東地区部会研究部中間決算
3. 2010年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）について
4. 2010年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について
5. 2010/2011年度研修委員について
6. 2010年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催（案）について
7. 役員校等選考に関する申し合わせ事項改訂について
 - (1) 東地区部会役員校選出について

(2) 協会関連団体委員について

(4) 東地区部会役員会事務連絡会

1) 2009年度第1回役員会事務連絡会

日 時：2009年6月12日(金) 9:15～9:30

会 場：獨協大学図書館1階会議室A

議 事：

2009年度部会総会について

1. 部会総会議長候補及び司会について
2. 部会総会の議事及び報告者について
3. 全体の進行について

2) 2009年度第2回役員会事務連絡会

日 時：2009年8月26日(水) 12:00～13:50

会 場：佛教大学 成徳常照館5階 特別会議室

議 事：

1. 第1回東西合同役員会での報告について

(1) 東地区部会会務報告[部会関係]

(2009年4月～7月)

(2) 東地区部会会務報告[研究部関係]

(2009年4月～7月)

2. 東北・北海道地区理事校選出について

(5) 東地区部会館長会

日 時：2009年6月12日(金) 12:10～13:45

会 場：獨協大学 中央棟3階 大会議室

出席校：49校(出席者：49名)

懇談テーマ：大学図書館間の協力関係について

司 会：青山学院大学図書館長 山本 吉宣

(6) 東地区部会研究講演会(研究部と共催)

日 時：2009年6月12日(金) 13:55～17:05

会 場：獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂

出席校：111校(出席者：183名)

司 会：研究部運営委員 跡見学園女子大学図書館 菊地 秀明

挨 拶：研究部担当理事校 東京理科大学図書館長 宮本 岩男

講演1：「LibQUAL+と大学図書館のサービス評価」

東北学院大学文学部教授 佐藤 義則氏

講演2：「慶應義塾大学における LibQUAL +® (ライブ[®]カル) の実施とその評価」

慶應義塾大学理工学メディアセンター事務長 市古 みどり氏

1-2 研究部

(1) 運営委員会

- 第1回 2009年 4月14日(火) 於東京理科大学
- 第2回 2009年 5月15日(金) 於東京理科大学
- 第3回 2009年 6月12日(金) 於獨協大学
- 第4回 2009年 7月17日(金) 於東京農業大学
- 第5回 2009年10月16日(金) 於跡見学園女子大学
- 第6回 2009年11月13日(金) 於早稲田大学
- 第7回 2009年12月14日(月) 於東京理科大学
- 第8回 2010年 3月12日(月) 於東京経済大学

運営委員(任期 2009年4月1日～2011年3月31日)

- 委員 伊藤 富士子 (東京農業大学)
伊藤 義裕 (青山学院大学)
角田 浩子 (慶應義塾大学)
金子 和代 (早稲田大学)
川北 友美 (帝京大学)
菊地 秀明 (跡見学園女子大学)
久世 泰子 (東京経済大学)
矢野 巧仁 (関東学院大学)

研究部担当理事校 東京理科大学

(2) 運営委員・研究分科会代表者合同会議

- 第1回 2009年 5月15日(金) 於東京理科大学
- 第2回 2009年11月13日(金) 於早稲田大学

(3) 研究会(研究分科会報告大会)

期 日: 2009年12月14日(月)・15日(火)

場 所: 東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム

発表者: 36名

参加者: 67大学 106名

研究発表:

第1日(12月14日)

理工学研究分科会

テーマ: 文献ガイダンスで利用可能なプレゼンテーションモデルの研究

(理工系大学図書館のガイダンスをカンタンに実施するために)

発表者: 内山 光子(日本大学理工学部) 平田 さくら(明治大学)

西洋古版本研究分科会

テーマ：2008－2009年度 西洋古版本研究分科会 活動報告
発表者：上田 健一（獨協大学） 齊藤 理香（中央大学）
中島 悠史（文化女子大学）

和漢古典籍研究分科会

テーマ：和漢古書の情報と補修 ～書物の顔から刊年を探る～
発表者：沼田 晃佑（身延山大学） 井上 玲子（中央大学）

図書館運営戦略研究分科会

テーマ：2008－2009年度 図書館運営戦略 活動報告
発表者：櫻井 友美（国士舘大学） 小生方 麻里（麗澤大学）
関口 千登世（城西大学）

L-ラーニング学習支援システム研究分科会

テーマ：大学図書館員のためのリポジトリからエルラー的 PBL への展開を目指して
発表者：南雲 彰子（国際大学） 田代 陽子（日本女子大学）
阿部 潤也（東京歯科大学）

第2日（12月15日）

分類研究分科会

テーマ：日本十進分類法（NDC）10版試案の検討
発表者：藤倉 恵一（文教大学）

逐次刊行物研究分科会

テーマ：電子ジャーナルとその周縁をめぐる研究
－導入から利用者への発信まで－
発表者：小室 啓子（文教大学） 菊地 秀明（跡見学園女子大学）
三上 彰（桜美林大学）

レファレンス研究分科会

テーマ：大学図書館の学習支援 事例紹介
発表者：井口 良子（國學院大學） 近藤 裕子（専修大学）
小幡 誉子（大正大学） 藤原 美佳（駒澤大学）
横田地 妙（創価大学）

情報リテラシー教育研究分科会

テーマ：「1年次教育における情報リテラシー教育」のモデル作成
発表者：池田 有紀（横浜商科大学） 樋口 知義（東洋大学）
小海 理恵（和光大学）

パブリック・サービス研究分科会

テーマ：2008－2009年度 パブリック・サービス研究分科会
活動・研究報告
発表者：瀬戸山 雄介（学習院大学） 清水 滋文（和光大学）
伊藤 康子（女子美術大学） 植苗 翔（中央大学）

塩瀬 雅博 (女子栄養大学) 内藤 沙織 (学習院大学)
川端 美月 (多摩大学)

研修分科会 (2009年度新設)

テーマ: 2009年度 研究報告

発表者: 高木 彩 (白百合女子大学) 松濱 純美 (昭和音楽大学)
古越 奈央 (相模女子大学) 島田 貴司 (立正大学)

(4) 研修委員会

第1回 2009年 4月17日 (金) 於東京理科大学
第2回 2009年 5月14日 (木) 於早稲田大学
第3回 2009年 6月 2日 (火) 於中央大学
第4回 2009年 7月 7日 (火) 於東京農業大学
第5回 2009年 9月17日 (木) 於東京農業大学
第6回 2009年10月14日 (水) 於東京農業大学
第7回 2009年11月18日 (水) 於明治大学
第8回 2009年12月 8日 (火) 於慶應義塾大学
第9回 2010年 3月19日 (金) 於東京理科大学

研修委員 (任期2008年4月1日～2010年3月31日)

委員長 今村 昭一 (早稲田大学)

委員 河野 江津子 (慶應義塾大学)

伊原 千秋 (中央大学)

安田 清孝 (東京農業大学)

矢野 恵子 (明治大学)

三宅 里美 (東京理科大学) (2009年4月1日～2011年3月31日)

オブザーバー 浮塚 利夫 (明治大学)

(5) 研修会

期 日: 2009年10月22日 (木)・23日 (金)

場 所: 東京農業大学 図書館

テーマ: 行きたくなる図書館、利用したくなる図書館 -Library2.0に向けて-

参加者: 107大学 112名 (いずれも延数)

内 容:

第1日 (10月22日)

基調講演: 大学図書館の21世紀: 大学図書館員は何をしなければならないか

千葉大学 文学部 教授

竹内 比呂也

講演: 関係性マネジメントのための利用者調査を目指して

慶應義塾大学 理工学メディアセンター

上岡 真紀子

事例報告：図書館員が図書館建設に関わった！

獨協大学 総務課

萬谷 衣加

事例報告：ボランティアは図書館を変えたか？－導入から14年－

筑波大学附属図書館 情報管理課

仲川 敦子

事例報告：図書館ツアービデオを活用した利用者教育について

亜細亜大学 学術情報部学術情報課

藤懸 徳仁

第2日（10月23日）

講 演：Library2.0と次世代OPAC

慶應義塾大学 文学部 准教授

原田 隆史

講 演：図書館Webサービスの連携

九州工業大学大学院工学研究院 准教授

井上 創造

講 演：ポッドキャスト@千葉大図書館

千葉大学附属図書館 情報サービス課

岩井 愛子

講 演：ネットワーク時代のレファレンスサービス

明治大学 文学部 教授

齋藤 泰則

（6）研究分科会

11 研究分科会が、月例研究会・夏期研究合宿等の活動を実施する。

（2008年4月1日～2010年3月31日）

（1）分類研究分科会

（7）西洋古版本研究分科会

（2）逐次刊行物研究分科会

（8）和漢古典籍研究分科会

（3）パブリック・サービス研究分科会

（9）情報リテラシー教育研究分科会

（4）図書館運営戦略研究分科会

（10）ラーニング学習支援システム研究分科会

（5）レファレンス研究分科会

（11）研修分科会（2009年度新設）

（6）理工学研究分科会

休会：相互協力研究分科会、企画広報研究分科会

廃止：北海道地区研究分科会

研究分科会月例担当理事校 関東学院大学

研究分科会更新担当理事校 跡見学園女子大学

2. 2009年度 協会関係会務報告

1. 協会会務報告

(1) 加盟校について

① 2009年度加盟校数

東地区 259校

西地区 261校

合計 520校

② 2009年度新規加盟校：8校

東地区

植草学園大学 (2009年1月27日受理)

こども教育宝仙大学 (2009年5月7日受理)

日本赤十字秋田看護大学 (2009年5月28日受理)

浜松学院大学 (2009年6月15日受理)

西地区

森ノ宮医療大学 (2008年12月24日受理)

広島都市学園大学 (2009年4月24日受理)

第一工業大学 (2009年5月1日受理)

関西看護医療大学 (2009年5月15日受理)

③ 2009年度脱退校：2校

西地区

聖和大学 (2009年2月16日受理)

高知工科大学 (2009年3月27日受理)

④ 2010年度脱退予定校 (2010年6月11日現在)

東地区

静岡英和学院大学 (2009年5月18日受理)

静岡文化芸術大学 (2009年11月27日受理)

西地区

宮崎産業経営大学 (2009年6月29日受理)

愛知新城大谷大学 (2010年1月22日受理)

名桜大学 (2010年3月27日受理)

⑤ 加盟館名称変更 (2009年4月1日以後)

東地区

◎武蔵工業大学図書館

→ 東京都市大学図書館

◎東京薬科大学情報センター

→ 東京薬科大学図書館・情報センター

◎和光大学附属梅根記念図書館

→ 和光大学附属梅根記念図書・情報館

◎東京成徳大学子ども学部・東京成徳短期大学図書館
→ 東京成徳学園十条台キャンパス図書館

◎目白大学新宿図書館
→ 目白大学図書館

西地区

◎同志社大学総合情報センター
→ 同志社大学図書館

◎大同工業大学図書館
→ 大同大学図書館

◎呉大学図書館
→ 広島文化学園大学図書館

◎立命館大学総合情報センターメディアライブラリー
→ 立命館大学図書館（メディアライブラリー）

◎立命館大学総合情報センターメディアセンター
→ 立命館大学図書館（メディアセンター）

◎広島国際学院大学附属図書館
→ 広島国際学院大学図書館

◎桜花学園大学保育学部・名古屋短期大学図書館
→ 桜花学園大学・名古屋短期大学図書館

◎兵庫大学附属図書館
→ 兵庫大学情報メディアセンター

◎福岡経済大学図書館
→ 福岡経済大学図書館・情報センター

◎宝塚造形芸術大学図書館
→ 宝塚大学図書館 2010年4月1日付変更

◎中京女子大学附属図書館
→ 至学館大学附属図書館 2010年4月1日付変更

◎修文大学・一宮女子短期大学附属図書館
→ 修文大学附属図書館 2010年4月1日付変更

⑥ 開館 （2009年4月1日以後）
東地区 桜美林大学図書館分館

⑦ 閉館 （2009年4月1日以後）
東地区 桜美林大学四谷キャンパス図書室

(2) 総会・研究大会

- ① 第70回（2009年度）総会
日 時：2009年8月27日（木）
場 所：佛教大学紫野キャンパス 5号館

報告事項

1. 会務報告
2. 委員会報告
3. 協会関連事項報告
4. 役員校、委員会および協会関連団体等委員

協議事項

1. 2008年度一般会計・特別会計決算報告書(案)について
2. 2009年度事業計画(案)について
3. 2009年度一般会計・特別会計予算(案)について
4. 新規加盟校および脱退校について

記念講演

「京都のまつりとくらしー水と火をめぐる民俗信仰ー」
佛教大学文学部教授 八木 透

② 研究大会

日 時：2009年8月28日(金)

場 所：佛教大学紫野キャンパス 5号館

日 程

1. 研究助成発表
 - ① 「LibQUAL+®の日本における実施とその評価」
慶應義塾大学メディアセンター 酒井 由紀子
 - ② 「オンライン蔵書目録及び図書館ホームページのユーザビリティ評価」
明治大学図書館 矢野 恵子 土田 大輔
2. 2008年度海外集合研修報告

文教大学越谷図書館	石井 円
武庫川女子大学附属図書館	川崎 安子
関西学院大学図書館	角田 貴彦
東海大学附属図書館	葉山 きい子
明治学院大学図書館	渡辺 順子
3. 講演
 - ① 「지식기반 사회를 위한 미래 도서관의 개념 모델
(Conceptual Model towards future Library in Knowledge-based Society / 知識基盤社会における未来型図書館の概念モデル)」
大韓民国圓光大学校図書館司書 이·히ョン실(Hyun-Sil Lee)
 - ② 「千代田 Web 図書館ー魅力ある場所にしていくためにはー」
千代田区立千代田図書館 満尾 哲広
 - ③ 講演の総括
佛教大学図書館 飯野 勝則

(3) 東西合同役員会

① 第1回東西合同役員会

日 時：2009年8月26日（水）

場 所：佛教大学紫野キャンパス 成徳常照館

報告事項

1. 協会会務報告（2009年4月～7月）
2. 東地区部会会務報告
3. 西地区部会会務報告
4. 委員会報告
 - (1) 研究助成委員会報告
 - (2) 国際図書館協力委員会報告
 - (3) 協会ホームページ委員会報告
5. 協会関連事項報告
 - (1) 国公立大学図書館協力委員会報告
 - (2) 日本図書館協会報告
 - (3) 第11回図書館総合展の後援について
 - (4) 平成21年度 第95回全国図書館大会の後援について
 - (5) 「デジタルリポジトリ連合国際会議2009」の後援について
 - (6) 公私立大学図書館コンソーシアム（PULC）への宛名シール提供について
6. 2009年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
7. 2009年度行事・会議予定について

協議事項

1. 2008年度一般会計・特別会計決算報告（案）について
2. 2009年度事業計画(案)について
3. 2009年度一般会計・特別会計予算(案)について
4. 新規加盟校および脱退校について
5. 2010年度研究助成課題研究のテーマについて
6. 第71回(2010年度)総会・研究大会について

懇談事項

1. 第70回(2009年度)総会・研究大会について
2. 2010年度協会脱退届の取り扱いについて
3. 学位論文電子化の諸問題に関するWG活動報告について

② 第2回東西合同役員会

日 時：2010年3月5日（金）

場 所：大阪ガーデンパレス

報告事項

1. 協会会務報告（2009年8月～2010年2月）

2. 東地区部会会務報告
3. 西地区部会会務報告
4. 委員会報告
 - (1) 協会賞審査委員会
 - (2) 研究助成委員会報告
 - (3) 国際図書館協力委員会報告
 - (4) 協会ホームページ委員会報告
5. 協会関連事項報告
 - (1) 国公立大学図書館協力委員会報告
 - (2) 国会図書館長と大学図書館長との懇談会について
 - (3) 情報保存研究会・日本図書館協会主催シンポジウムの後援について
 - (4) ICOLC会議への職員派遣について
6. 協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
7. 2010年度行事・会議予定について
8. その他

協議事項

1. 2009年度一般会計・特別会計決算（案）について
2. 2010年度事業計画（案）について
3. 第71回（2010年度）総会・研究大会について
4. 2010年度一般会計・特別会計予算（案）について
5. 2009年度協会賞について
6. 2010年度研究助成について
7. 2009年度国際図書館協力シンポジウムについて
8. 2010年度国際図書館協力シンポジウムの開催について
9. 2010年度協会脱退届の取り扱いについて

懇談事項

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について
2. 新規加盟への勧誘について
3. 図書館におけるRFIDプライバシー保護ガイドラインについて

(4) 常任幹事会

① 第1回常任幹事会

期 日：2009年4月10日（金）

場 所：関西大学 総合図書館

報告事項

1. 会務報告
 - (1) 加盟校数について
 - (2) 加盟館名称変更について

- (3) 加盟校への書類等の送付について
- (4) 会報の刊行について
- 2. 委員会報告
 - (1) 国際図書館協力委員会報告
- 3. 協会関連事項報告
 - (1) 日本図書館協会報告
- 4. 2009年度研究助成の変更について
- 5. 2008年度協会賞・審査結果通知後の対応について
- 6. 2009年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
- 7. 2009年度行事・会議予定について

協議事項

- 1. 2008年度一般会計・特別会計決算報告（案）について
- 2. 2009年度事業計画（案）について
- 3. 第70回（2009年度）総会・研究大会について
- 4. 2009年度一般会計・特別会計予算（案）について
- 5. 脱退予定校の協会会費について
- 6. 部会交付金について

懇談事項

- 1. 次期役員校、総会当番校の選出について

② 第2回常任幹事会

日 時：2009年12月4日（金）

場 所：青山学院大学 総合研究所ビル

報告事項

- 1. 協会会務報告
- 2. 東地区部会会務報告
- 3. 西地区部会会務報告
- 4. 委員会報告
- 5. 協会関連事項報告
- 6. 2009年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
- 7. 2010-2011年行事・会議予定について

協議事項

- 1. 2009年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込について
- 2. 2010年度事業計画（案）について
- 3. 2010年度一般会計・特別会計予算（案）について
- 4. 第71回（2010年度）総会・研究大会について
- 5. 2009年度国際図書館協力シンポジウムについて

懇談事項

- 1. 次期役員校、総会当番校の選出について

2. 加盟館への宛名シール等の提供について
3. 2010年度協会脱退届の取り扱いについて
4. 次期会長校の総会承認時期について

(5) 未加盟校への勧誘について

本協会未加盟校に対して、会長校より以下の資料を10月30日付で送付し、加盟についての案内を行った。

- ・私立大学図書館協会への加盟について（案内）
- ・私立大学図書館協会について
- ・私立大学図書館協会会則
- ・私立大学図書館協会組織図
- ・私立大学図書館協会加盟校数一覧
- ・私立大学図書館協会東地区部会事業内容
- ・私立大学図書館協会西地区部会事業内容
- ・加盟申込書

(6) 加盟校への書類等の送付について

以下の書類等を加盟大学図書館宛に送付した。

① 3月23日付発送

- ・「大学図書館間協力における資料複写に関する合意書」について

② 4月1日付発送

- ・私立大学図書館協会会費および加盟大学在学学生数調査に関する書類
- ・2009年度暫定予算の執行について
- ・第70回総会への議題・承合事項について
- ・国際図書館協力基金による私立大学図書館協会加盟図書館2009年第1回寄贈資料
搬送

事業実施について（ご案内）

- ・加盟図書館名簿記載事項変更届
- ・協会ホームページについて（お知らせとお願い）

③ 4月9日付発送

- ・平成21年度大学図書館職員長期研修の開催について（通知）

④ 7月15日付発送

- ・2009年度海外集合研修(短期研修)の参加者募集について（ご案内）

⑤ 9月7日付発送

- ・2010年度研究助成の募集について（お知らせ）
- ・2010年度研究助成応募要領
- ・課題研究のテーマについて
- ・私立大学図書館協会研究助成申込書（様式A～D）

- ・2009年度海外集合研修（短期研修）の参加者募集について（再）

⑥ 10月5日付発送

- ・2009年度協会賞受賞候補者の推薦について（依頼）
- ・2010年度海外派遣研修（長期研修）の参加募集について（お知らせ）
- ・2009年度第2回寄贈資料搬送事業実施について（ご案内）
- ・寄贈資料搬送申請書
- ・私立大学図書館協会会長の交代について（連絡）

⑦ 11月10日付発送

- ・「大学図書館協力における資料複製に関する契約書」について（通知）
- ・大学図書館間協力における資料複製に関する利用許諾契約書
- ・（別表）大学図書館一覧
- ・大学図書館間協力における資料複製に関するガイドライン

(7) 会報第132号・133号の刊行について

- ・第132号は2009年9月8日に刊行した。
- ・第133号は2010年3月8日に刊行した。
- ・偶数号に東地区・西地区各々の会務報告・研究大会報告を掲載し、奇数号に協会総会・大会報告を掲載している。

2. 委員会報告

(1) 協会賞審査委員会

第1回委員会

日 時：2010年2月26日（金）

場 所：慶応義塾図書館新館

協議事項

1. 委員長の選出について
2. 協会賞の審査について

(2) 研究助成委員会

1) 委員会について

① 第1回委員会

日 時：2009年5月29日（金）

場 所：関西大学 総合図書館

報告事項

1. 2008年度特別会計決算および2009年度特別予算について

協議事項

1. 委員長の選出について

2. 課題研究のテーマについて
3. 今後のスケジュールについて

② 第2回委員会

日 時：2010年1月28日（木）
場 所：立教大学（池袋キャンパス） 太刀川記念館
協議事項

1. 研究助成の審査について
 2. 2009年度特別会計決算および2010年度特別会計予算について
- 2) 2009年度研究助成の変更について

(3) 国際図書館協力委員会

1) 委員会について

① 第1回委員会

期 日：2009年5月22日（金）
場 所：キャンパスプラザ京都
報告事項

1. 2008年度特別会計決算について
 2. 2009年度特別会計予算について
- 協議事項

1. 委員長の選出について
2. 寄贈資料搬送事業について
3. 海外派遣研修について
4. 海外集合研修について
5. 国際図書館協力シンポジウムについて

② 第2回委員会

期 日：2009年7月3日（金）
場 所：キャンパスプラザ京都
報告事項

1. 2009年度海外派遣研修について
- 審議事項：
1. 2009年度第1回寄贈資料搬送事業について
 2. 2009年度海外集合研修について
 3. 国際図書館協力シンポジウムについて
 4. 国際図書館協力基金の依頼について

③ 第3回委員会

日 時：2009年10月16日（金）
場 所：東京理科大学
報告事項

1. 2009年度海外派遣研修について

協議事項

1. 2009年度海外集合研修派遣者について
2. 2009年度第2回寄贈資料搬送事業について
3. 2010年度海外派遣研修について
4. 2010年度国際図書館協力シンポジウムについて
5. 国際図書館協力基金について

④ 第4回委員会

日 時：2009年12月18日（金）

場 所：青山学院大学

報告事項

1. 2009年度海外集合研修について

協議事項

1. 2010年度海外派遣研修派遣者について
2. 2009年度第2回寄贈資料搬送事業について
3. 2010年度国際図書館協力シンポジウムについて
4. 国際図書館協力基金について
5. 海外認定研修（仮称）について

⑤ 第5回委員会

日 時：2010年3月19日（金）

場 所：立命館大学衣笠キャンパス 至徳館

報告事項

1. 2009年度海外派遣研修報告書について
2. 2009年度海外集合研修報告書について

審議事項

1. 2010年度国際図書館協力シンポジウムについて
2. 2009年度各事業進捗状況について
3. 2009年度予算執行状況について
4. 国際図書館協力基金について
5. 2010年度寄贈資料搬送事業について
6. 2010年度イリノイ大学モーテンソンセンターとの協定書について
7. 海外認定研修について
8. 2011年度～2012年度国際図書館協力委員会の構成について

2) 実施事業について

① 2009年度第1回寄贈資料搬送事業について

- ・募集期間 2009年4月1日～5月30日

	申請館	寄贈先	冊数	箱数	費用
1	国際大学松下図書・情報センター	Institute of Rural Development Planning (カンザニア)	200	10	61,290円
2	追手門学院大学附属図書館	南京大学図書館 (中国)	199	14	250,000円
3	明治大学図書館	Lao-Japan Center National University of Laos (ラオス)	241	6	390,000円

② 2009年度第2回寄贈資料搬送事業について

- ・募集期間 2009年10月5日～11月30日

	申請館	寄贈先	冊数	箱数	費用
1	國學院大學図書館	南開大学日本研究院 (中国)	23	2	215,000円
2	甲南大学図書館	北京大学図書館 (中国)	1,155	36	275,000円

③ 2009年度海外集合研修について

- ・日程 : 2009年11月22日～11月29日実施
- ・研修テーマ : 「カナダの大学図書館探訪」
- ・訪問期間 : University of British Columbia (Vancouver)
Simon Fraser University (Vancouver)
Vancouver Public Library (Vancouver)
- ・参加者

	氏名	所属機関
1	高橋 正江	上智大学図書館
2	大勢 美穂	立命館アジア太平洋大学総合情報センター
3	幸坂 希	北星学園大学図書館
4	鈴木 直子	明治学院大学図書館
5	高木 彩	白百合女子大学図書館
6	大坪 一幸	京都精華大学情報館

④ 2009年度海外派遣研修の実施について

- ・日程 : 2009年 9月14日～10月29日
- ・派遣先 : イリノイ大学モーテンソンセンター
- ・派遣者 : 法政大学多摩図書館 山田賢悟

- ⑤ 2010年度海外派遣研修参加者の募集について
 - ・募集期間：2009年10月 5日～11月30日
 - ・日程：未定
 - ・派遣先：イリノイ大学モータンソンセンター
 - ・派遣予定者：文教大学越谷図書館 鈴木正紀
- ⑥ 2010年度国際図書館協力シンポジウムの開催について
 - ・日程：2010年 5月14日（金）
 - ・会場：青山学院大学青山キャンパス
 - ・講演テーマ：学術情報のデジタル化と図書館の未来
ーネットワーク時代の国際連携ー

(4) 協会ホームページ委員会

1) 委員会について

① 第1回委員会

日時：2009年 6月26日（金）

場所：関西大学 総合図書館

報告事項

1. 私立大学図書館協会ならびに各地区・各地区協議会HPの更新状況について

審議事項

1. 委員長の選出について
2. 役割分担について
3. 2009年度活動計画について

② 第2回委員会

日時：2009年10月29日（木）

場所：明治大学 中央図書館

報告事項

1. 私立大学図書館協会ならびに各地区部会・各地区協議会HPの更新状況報告
2. 私立大学図書館協会総会、東地区総会、西地区総会報告

協議事項

1. 私立大学図書館協会加盟大学からの加盟館名簿データ（Access）提供依頼の対応
2. サイトポリシーとリンク登録手続き
3. 休会中のMLのメンテナンス
4. 次年度予算

③ 第3回委員会

日時：2010年 2月19日（金）

場所：関西外国語大学（中宮キャンパス） 本館

報告事項

1. 私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会HPの更新状況報告
協議事項

1. サイトポリシーとリンク登録手続き
2. 掲示板の運用

2) WWW情報資源提供サービス利用状況(2010年 1月18日現在)

(1) 有料レンタルサーバの契約

- ・契約期間 : 年間契約
- ・ウィルス駆除サービス : 70アカウント(うち64アカウント使用)
- ・契約ディスク容量 : 60GB
- ・使用量 : 2.7GB

(2) 情報資源利用状況

- ・ホームページ設置スペースサービス : 22団体
- ・代表者宛メールアドレスサービス : 25団体
- ・構成員用メーリングリストサービス : 34団体

3. 協会関連事項報告

(1) 国公立大学図書館協力委員会

1) 委員会について

① 第66回国公立大学図書館協力委員会

日時: 2009年7月31日(金)

場所: 京都大学 附属図書館

報告事項:

1. 委員長館会務報告
2. 「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告
3. 「大学図書館研究」編集委員会報告
4. 大学図書館著作権検討委員会報告
5. シンポジウム企画・運営委員会報告
6. GIFプロジェクト関連報告
7. 国立国会図書館と大学図書館との連絡会
学位論文電子化の諸問題に関するワーキンググループ活動報告
8. JCOLC関連報告
9. その他

協議事項:

1. 次期委員長の選出について
2. 国公立大学図書館協力委員会運営要綱の一部改正について
3. 「大学図書館研究」編集委員会について
4. ICタグ研究委員会図書館部会委員について

懇談事項：

1. SCOAP3について

② 第67回国公立大学図書館協力委員会

日時：2009年11月17日（火）

場所：国立情報学研究所 講義室1・2

報告事項：

1. 委員長館会務報告

(1) 事務引継

(2) 常任幹事会打ち合わせ

(3) 国立国会図書館と大学図書館との連絡会

(4) 平成21年度第1回常任幹事会

(5) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

(6) 国立情報学研究所との業務連絡会

(7) ICタグ連絡委員会への委員に関する申し合わせについて

(8) DRFIC2009の開催について

2. 「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告

3. 「大学図書館研究」編集委員会報告

4. 大学図書館著作権検討委員会報告

5. シンポジウム企画・運営委員会報告

6. GIFプロジェクト関連報告

7. 学位論文電子化の諸問題に関するWG報告

8. JCOLC関連報告

(1) 国際図書館コンソーシアム連合（ICOLC関連）

(2) 国立大学図書館協会

(3) 公立大学図書館コンソーシアム（PULC関連）

9. その他

(1) 国立大学図書館協会関連

(2) 公立大学協会図書館協議会関連

(3) 日本図書館協会大学図書館部会関連

(4) 平成21年度第1回常任幹事会

協議事項

1. 平成20年度決算報告書（案）ならびに監査報告について

2. 平成21年度予算（案）について

3. 監事館の選出について

4. その他

2) その他

① 「図書館におけるRFIDプライバシー保護ガイドライン」素案の検討について

- ② 改正後の著作権法第37条第3項, 第37条の2, 第38条第5項に基づき政令で指定される施設について
- ③ 国立情報学研究所学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会ワーキンググループメンバーの募集について

(2) 日本図書館協会

1) 会議報告

① 2009年度第1回評議員会

日 時：2009年5月28日(木)

場 所：日本図書館協会 2階研修室

協議事項

- 1. 2008年度会勢報告・案について
- 2. 2008年度決算報告・案について
- 3. 2008年度監査報告について
- 4. 顧問の推挙、参与の委嘱について
- 5. 公益社団法人への移行について
- 6. 第95回全国図書館大会の開催について
- 7. 専門職員認定制度について

② 第32期第1年次(2009年度)定期総会

日 時：2009年5月29日(金)

場 所：日本図書館協会

協議事項

- 1. 2008年度会勢報告・案
- 2. 2008年度決算報告・案
- 3. 2008年度委員会事業報告(案)

③ 2009年度第2回評議員会

日 時：2010年 3月17日(木)

場 所：日本図書館協会 2階研修室

報告事項

- 1. 理事会の報告
- 2. その他

協議事項

- 1. 2010年度事業計画案について
- 2. 2010年度予算案について
- 3. 新たな法人(「公益社団法人日本図書館協会」)移行について
- 4. 専門職員認定事業の実施について
- 5. その他

- (3) 情報保存研究会・日本図書館協会共催シンポジウムの後援について
日 時：2009年10月16日（金）
場 所：江戸東京博物館ホール
テーマ：『資料保存を実践する－事例から学ぶ現場の知恵－』
後援内容：後援名義使用のみで、経費は不要
- (4) 平成21年度 全国図書館大会の後援について
日 時：2009年10月30日（金）
場 所：明治大学アカデミーホール
主 催：日本図書館協会
後援内容：後援名義使用のみで、経費は不要
- (5) 公私立大学図書館コンソーシアム（PULC）への宛名シール提供について
- (6) 第11回図書館総合展の後援について
日 時：2009年11月10日（火）～11月12日（木）
場 所：パシフィコ横浜
主 催：図書館総合展運営委員会
企画・運営：株式会社カルチャー・ジャパン
後援内容：後援名義使用のみで、経費は不要
- (7) 国会図書館長と大学図書館長との懇談会について
日 時：2009年11月17日（火）
場 所：国立国会図書館 本館総務課第1会議室
懇談会次第
1. 開会あいさつ
 2. 国立国会図書館と大学図書館との連絡会活動報告
国等の提供するインターネット資料の制度的収集について
国立国会図書館長による基調報告
国公立大学図書館協力委員会委員長による基調報告
 3. 意見交換
 4. 閉会のあいさつ
- (8) ICOLC（International Coalition of Library Consortia）会議への職員派遣について
- ・派遣者：早稲田大学図書館 今村昭一
 - ・日 時：2010年4月19日（月）～21日（水）
 - ・派遣先：シカゴ
 - ・旅 費：国公立大学図書館協力委員会が負担する

3. 2010年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

(1) 役員校

会長校 関西大学

東地区部会

部会長校 青山学院大学

理事校 東京理科大学 (研究部担当)

〃 跡見学園女子大学 (分科会更新担当)

〃 関東学院大学 (分科会月例担当)

〃 東北学院大学 (東北・北海道地区担当)

監事校 中央大学 (前会長校)

西地区部会

部会長校 同志社大学 (京都地区協議会)

理事校 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学 (東海地区協議会) (会報担当)

〃 京都女子大学 (京都地区協議会・会則第13条第2項)

〃 関西外国語大学 (阪神地区協議会)

〃 ノートルダム清心女子大学 (中国・四国地区協議会)

〃 九州産業大学 (九州地区協議会)

監事校 大阪学院大学 (前部会長校)

(2) 委員会

1) 協会賞審査委員会

石黒敦子 (委員長) 慶應義塾大学

阿部博則 駒澤大学

今村太朗 関西学院大学

奥正敬 京都外国語大学

山内隆文 名古屋学院大学

庄司雅之 早稲田大学

鈴木正紀 文教大学

古庄敬文 西南学院大学

2) 研究助成委員会

小泉徹 (委員長) 立教大学

青柳伸策 東京理科大学

岸田万紀子 青山学院大学

城戸武文 九州産業大学

金東澄 関西大学

井上正則 同志社大学

三 上 耕 一 明治学院大学
吉 村 達 裕 広島修道大学

3) 国際図書館協力委員会

臼 井 文 子 (委員長) 立命館大学
赤 木 一 夫 関西大学
桂 三 幸 愛知大学
中 田 眞 江 青山学院大学
宮 川 良 男 東京理科大学
湯 川 亜 矢 早稲田大学

4) 協会ホームページ委員会

渡 来 達 也 (委員長) 中央大学
有 菌 聡 美 青山学院大学
安 東 正 玄 立命館大学
土 師 裕 子 ノートルダム清心女子大学
高 濱 純 九州産業大学
中 林 雅 士 明治大学
原 健 治 同志社大学
濱 生 快 彦 関西大学
本 間 通 正 東京理科大学
三 村 裕 紀 関西外国語大学
渡 辺 英 二 中京大学

(3) 協会関連団体

1) 国公立大学図書館協力委員会

(委員長館 横浜市立大学 (2009年8月1日～2011年7月31日))

① 委員館 (2009年4月1日～2011年3月31日)

委員館・常任幹事館 慶應義塾大学
委員館・常任幹事館 早稲田大学
委員館 関西大学
委員館 青山学院大学
委員館 同志社大学
委員館・監事館 中央大学

② 『大学図書館協力ニュース』編集委員会

金 東 澄 関西大学
岸 田 万紀子 青山学院大学
大 前 朝 子 同志社大学

③ 『大学図書館研究』編集委員会

委員 (2009年4月1日～2011年3月31日)
天 笠 洋 一 京都産業大学

市古みどり	慶應義塾大学
市河原雅子	関西学院大学
下澤計治	法政大学
柴尾晋	明治大学
多田智子	早稲田大学

④ 大学図書館著作権検討委員会

委員

荘司雅之(主査)	早稲田大学
松本和子	慶應義塾大学

⑤ 大学図書館著作権検討委員会ワーキング・グループ

今村昭一	早稲田大学
杉本若葉	慶應義塾大学
服部光泰	早稲田大学

⑥ シンポジウム企画委員会

委員

中元誠	早稲田大学
市古みどり	慶應義塾大学

2) 日本図書館協会

① 施設会員理事

加藤哲夫	早稲田大学図書館長
------	-----------

② 施設会員評議員

北川勝彦	関西大学図書館長
山本吉宣	青山学院大学図書館長
百合野正博	同志社大学図書館長
金子堅司	東京理科大学図書館長

③ 大学図書館部会

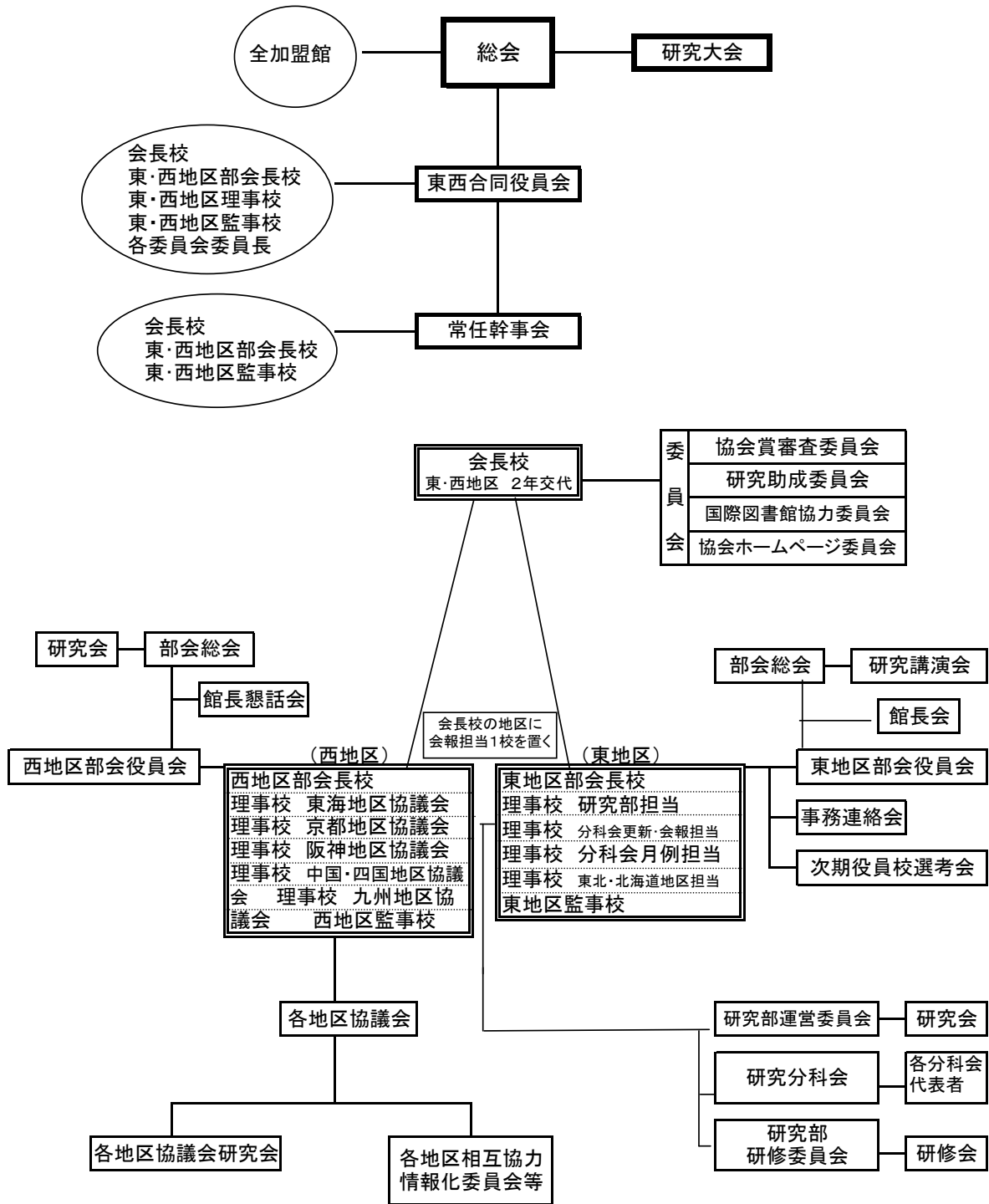
施設会員委員

荘司雅之	早稲田大学
村上篤太郎	慶應義塾大学

④ 図書館年鑑編集委員

金東澄	関西大学
-----	------

4. 私立大学図書館協会組織図



II. 協議事項

1. 2009年度 東地区部会決算報告及び監査結果

2009年度 私立大学図書館協会東地区部会

決算報告書

(2009年4月1日 ~ 2010年3月31日)

収入の部 (単位:円)

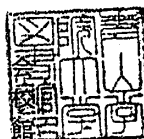
科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	摘要
協会交付金	3,315,000	3,367,000	△ 52,000	¥13,000×259校
雑収入	3,000	45,300	△ 42,300	研究部より北海道地区研究分科会 廃会のため経費返還金 ¥44,516 預金利息 ¥784
小計	3,318,000	3,412,300	△ 94,300	
前年度繰越金	3,163,677	3,163,677	0	
合計	6,481,677	6,575,977	△ 94,300	

支出の部 (単位:円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	摘要
役員会費	200,000	161,209	38,791	役員会意見交換会費(2回分) ¥27,500、役員校活動費交付金(東 北・北海道地区)¥100,000、事務運 総会弁当代¥22,400他
部会総会費	620,000	611,270	8,730	部会総会・館長会・研究講演会費用 部会総会資料印刷代¥274,680 研究講演会講師謝礼他
印刷費	70,000	38,010	31,990	封筒印刷代
通信費	70,000	67,405	2,595	部会総会開催通知送付¥36,370 部会総会資料発送代¥11,440 振込手数料他
運営事務費	30,000	3,402	26,598	宛名ラベル代
研究部交付金	2,890,500	2,926,900	△ 36,400	¥13,000×0.7×259校 研修分科会支援金¥570,000
小計	3,880,500	3,808,196	72,304	
予備費	2,601,177	0	2,601,177	
合計	6,481,677	3,808,196	2,673,481	
次年度繰越金	0	2,767,781	△ 2,767,781	
総計	6,481,677	6,575,977	△ 94,300	

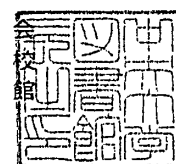
上記のとおり報告いたします。

2010年4月5日
私立大学図書館協
東地区部会長
青山学院大学図書



関係帳簿並びに証憑書類を精査した結果、正確なることを認めます。

2010年4月5日
私立大学図書館協
東地区部監事
中央大学図書



2. 2009年度 東地区部会研究部決算報告及び監査結果

2009年度私立大学図書館協会東地区部会研究部
決算報告書
 (2009年4月1日～2010年3月31日)

収入の部

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	摘 要
部会交付金	2,890,500	2,926,900	△ 36,400	①13,000円 × 0.7 × 255 校 加盟館追加4校分 (36,400円) 570,000円 部会長校より新設・研修分科会支援金
研修会参加費収入	270,000	324,000	△ 54,000	参加費：③3,000円×108名
研究会参加費	0	0	0	2009年度は研究分科会報告大会のため未計上
雑 収 入	1,000	45,518	△ 44,518	預金利息 廃止分科会経費 (北海道地区研究分科会)
小 計	3,161,500	3,296,418	△ 134,918	
前年度繰越金	2,317,169	2,317,169	0	
合 計	5,478,669	5,613,587	△ 134,918	

支出の部

科 目	予算額(A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	摘 要
研究会開催費	500,000	301,137	198,863	研究分科会報告大会 12月14・15日開催 (於 東京理科大学) 内訳：分科会発表資料作成費100,000円、 資料発送費2,210円、飲料・弁当136,930円 配布資料印刷用トナー等29,400円、文具等32,697円
研修会開催費	700,000	664,761	35,239	研修会 10月22・23日 (於 東京農業大学)
運営委員会費	100,000	92,515	7,485	
運営委員・分科会 代表者合同会議費	160,000	123,420	36,580	年2回開催 (第1回5月15日於東京理科大学・ 第2回11月13日於早稲田大学)
分科会助成金	830,000	685,000	145,000	基本助成： 330,000 円 (30,000 × 11 分科会) 割増助成： 355,000 円 (⑤5,000×正会員71名 [上限13万円/分科会])
特別助成金	1,070,000	570,000	500,000	研修分科会 (2009年度新設) 1件
研修委員会費	100,000	100,000	0	
研究部活動費	50,000	0	50,000	
印 刷 費	600,000	264,915	335,085	研究部封筒：3,000部 研究部報告書：500部
通 信 費	200,000	105,097	94,903	研修会案内通知、研究分科会報告大会案内通知、 研究分科会会員募集、会員決定通知発送
運 営 事 務 費	100,000	99,434	566	
小 計	4,410,000	3,006,279	1,403,721	
予 備 費	1,068,669	44,516	1,024,153	廃止分科会経費 部会長校へ返還1件 (北海道地区 研究分科会<44,516円>)
次年度繰越金	0	2,562,792	△ 2,562,792	
合 計	5,478,669	5,613,587	△ 134,918	

2009年度私立大学図書館協会東地区部会研究部決算報告は、以上のとおりです。

2010年3月31日

東地区部会研究部担当理事校

東京理科大学図書館

監 査 報 告 書

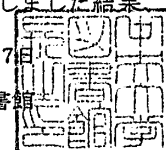


2009年度に係る決算報告書及び附属書類について、その証憑書類及び帳簿を監査いたしました結果、
 当該決算報告書は適正に表示されていると認めます。

2010年4月7日

東地区部会監事校

中央大学図書館



3. 2010年度 東地区部会事業計画(案)

(2010年4月1日～2011年3月31日)

1. 事業計画

(1) 東地区における私立大学図書館協会の活動推進

- ・協会ホームページ運営における支援協力の活性化、研究活動助成など各種取り組みを成功させるための活動。
- ・地域参加館との連携強化

(2) 研究部活動の充実－研修分科会の発展

(3) 総会及び館長会の開催

(4) 相互協力活動の推進

各種図書館間の情報交換及び協力活動の推進。

(5) 部会運営の効率化

図書館職員数減少など参加館の実情に合わせた部会運営の見直し。

2. 行事・会議予定

東地区関係

東地区部会総会	2010年	6月11日(金)	明星大学
館長会・研究講演会	2010年	6月11日(金)	明星大学
役員会			
第1回役員会	2010年	4月16日(金)	青山学院大学
第1回役員会事務連絡会	2010年	6月11日(金)	明星大学
※部会総会会場9:15～			
第2回役員会事務連絡会	2010年	9月8日(水)	西南学院大学
※私大図協総会会場(総会前日)			
第2回役員会	2011年	1月28日(金)	青山学院大学

協会関係

東西合同役員会

第1回	2010年	9月8日(水)	西南学院大学
第2回	2011年	3月4日(金)	大阪ガーデンパレス
総会	2010年	9月9日(木)	西南学院大学
研究大会	2010年	9月10日(金)	西南学院大学

4. 2010年度 東地区部会予算（案）

（2010年4月1日～2011年3月31日）

収入の部

（単位：円）

科目	10年度予算(A)	09年度予算(B)	差異(A-B)	備考
協会交付金	3,367,000	3,315,000	52,000	@13,000×259校
雑収入	1,000	3,000	△ 2,000	
小計	3,368,000	3,318,000	50,000	
前年度繰越金	2,767,781	3,163,677	△ 395,896	
合計	6,135,781	6,481,677	△ 345,896	

支出の部

（単位：円）

科目	10年度予算(A)	09年度予算(B)	差異(A-B)	備考
役員会費	220,000	200,000	20,000	意見交換会費及び役員活動費含む
部会総会費	400,000	620,000	△ 220,000	
総会資料印刷代	0	220,000	△ 220,000	
館長会他弁当代	165,000	165,000	0	
講師謝礼	100,000	100,000	0	
総会飲物代	55,000	55,000	0	
会場校謝礼	50,000	50,000	0	
その他	30,000	30,000	0	
印刷費	300,000	70,000	230,000	
総会資料印刷代	280,000	0	280,000	
部会長校用封筒印刷代他	20,000	70,000	△ 50,000	
通信費	70,000	70,000	0	
部会総会開催通知発送代	40,000	40,000	0	
総会欠席校へ資料発送代他	20,000	20,000	0	
宅急便代、振込手数料他	10,000	10,000	0	
運営事務費	20,000	30,000	△ 10,000	宛名ラベル他
研究部交付金	2,926,900	2,890,500	36,400	13,000×0.7×259校 研修分科会支援金¥570,000
小計	3,936,900	3,880,500	56,400	
予備費	2,198,881	2,601,177	△ 402,296	
合計	6,135,781	6,481,677	△ 345,896	

5. 2010年度 東地区部会研究部活動計画（案）

（2010年4月1日～2011年3月31日）

1. 研究部活動方針

- （1）研究活動
- （2）研修活動
- （3）研究部ホームページの安定的運用

2. 活動計画

（1）運営委員会

研究部の活動計画、予算・決算、研究部の運営その他について協議。
年8回程度開催。

（2）運営委員・研究分科会代表者合同会議

研究分科会活動計画・運営その他について協議。
2010年5月、11月の年2回開催。

（3）研究会

「交流会」（研究分科会参加者の相互交流）の開催。
2010年11月12日 於：慶應義塾大学

（4）研修委員会

研修会開催（年1回）のため、年8回位開催予定。

（5）研修会

2010年11月4日、5日 於：慶應義塾大学

（6）研究分科会

12研究分科会が、月例研究会・夏期研究合宿等の活動を実施する。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 分類研究分科会 | ⑦ 西洋古版本研究分科会 |
| ② 逐次刊行物研究分科会 | ⑧ 企画広報研究分科会 |
| ③ パブリック・サービス研究分科会 | ⑨ 和漢古典籍研究分科会 |
| ④ レファレンス研究分科会 | ⑩ 情報リテラシー教育研究分科会 |
| ⑤ 理工学研究分科会 | ⑪ Lーラーニング学習支援研究分科会 |
| ⑥ 相互協力研究分科会 | ⑫ 研修分科会 |

休会：図書館運営戦略研究分科会

6. 2010年度 東地区部会研究部予算 (案)

(2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部

単位：円

科 目	本年度予算 (A)	前年度予算 (B)	差異 (A-B)	摘 要
部会交付金	2,926,900	2,890,500	36,400	2,356,900円 @13,000円 × 0.7 × 259校 570,000円 部会長校より新設・研修分科会支援金
研究会参加費収入	270,000	270,000	0	参加費：@3,000円 3,000 × 90 名 × 1 回
研究会参加費	150,000	0	150,000	「交流会」 参加費：@3,000円 3,000 × 50 名
雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息
小 計	3,347,900	3,161,500	186,400	
前年度繰越金	2,562,792	2,317,169	245,623	
合 計	5,910,692	5,478,669	432,023	

支出の部

科 目	本年度予算 (A)	前年度予算 (B)	差異 (A-B)	摘 要
研究会開催費	400,000	500,000	△ 100,000	「交流会」(研究分科会参加者の相互 交流)の開催
研修会開催費	700,000	700,000	0	2010年度は1回開催
運営委員会費	100,000	100,000	0	
運営委員・分科会 代表者合同会議	160,000	160,000	0	年2回開催(5・11月)
分科会助成金	760,000	830,000	△ 70,000	基本助成：360,000 円 (30,000 × 12 分科会) 割増助成正会員 400,000 円 (5,000 × 80 名)
特別助成金	620,000	1,070,000	△ 450,000	研修分科会支援金(57万円) 申請があった場合、予備費から充当
研修委員会費	100,000	100,000	0	
研究部活動費	50,000	50,000	0	研究部活動(運営委員会・研修委員会 含む)
印 刷 費	350,000	600,000	△ 250,000	研究部報告書：500部
通 信 費	100,000	200,000	△ 100,000	
運営事務費	50,000	100,000	△ 50,000	
小 計	3,390,000	4,410,000	△ 1,020,000	
予 備 費	2,520,692	1,068,669	1,452,023	
合 計	5,910,692	5,478,669	432,023	

私立大学図書館協会2010年度東地区部会
館長会次第

日 時：2010年6月11日（金）12：00～13：30
会 場：明星大学 本館7階701B号室

懇談テーマ： 「大学図書館をどのように活用しているか、活用していくか」

司 会： 山本 吉宣 青山学院大学図書館長

私立大学図書館協会2010年度東地区部会
「研究講演会」次第

日 時：2010年6月11日（金）13：45～16：45

会 場：明星大学 大学会館3階会議室

（受付開始 13：00）

1. 開会の辞 (13：45～)
司会者 (研究部運営委員) 東京農業大学 伊藤 富士子
2. 挨拶
研究部担当理事校
東京理科大学図書館 館長 金子 堅 司
3. テーマ
ー大学図書館の将来についてー
 - (1) 講演「研究者の情報行動と学術情報流通の現況と将来：
図書館としてどう考えるのか」 (14：00～15：00)
慶應義塾大学文学部 教授 倉田 敬子氏
質疑応答 (15：00～15：15)
 - <休 憩> (15：15～15：30)
 - (2) 講演「研究者・学生・大学にとっての10年後の大学図書館とは」
(15：30～16：30)
千葉大学文学部 教授 土屋 俊 氏
質疑応答 (16：30～16：45)
4. 閉 会

<講師のプロフィール>

倉田 敬子 (くらた けいこ)

現職：

慶應義塾文学部教授

最終学歴：

慶應義塾大学文学研究科図書館・情報学専攻博士課程修了（単位取得大学）

専門領域：図書館情報学。特に、研究者のコミュニケーション、学術情報流通、
情報メディア論

所属学会：日本図書館情報学会、三田図書館・情報学会、ASIS&T 等

主な出版物：

倉田敬子, 他. 電子ジャーナルとオープンアクセス環境下における日本の医学
研究者の論文利用および入手行動の特徴. *Library and Information Science*. 2009,
no.61, p.59-90.

Kurata, Keiko, etc. Electronic journals and their unbundled functions in scholarly
communication: Views and utilization by scientific, technological and medical
researchers in Japan. *Information Processing & Management*. 2007, vol.43,
no.5,p.1402-1415

研究者の情報行動と学術情報流通の現況と将来 ：図書館としてどう考えるのか 慶應義塾大学文学部 倉田敬子

1. 学術情報流通と大学図書館

- (1) 学術情報流通に果たしてきた大学図書館の役割
- (2) 電子化がもたらす意味
 - 「印刷物」を前提に構築された図書館というシステム
 - 学術情報流通の電子化による変化

2. 電子環境下における研究者の情報行動

- 最近の米英，日本の調査結果に見られる特徴
- (1) 電子ジャーナル
 - ほぼすべての調査において，高頻度での利用，高い価値（位置づけ）
 - 電子ジャーナルと冊子体（印刷版）
 - 電子ジャーナルの読み方：PDF と画面
 - アクセス障害
- (2) 図書へのニーズ
 - 分野に依存，教科書としての位置づけ
- (3) 文献を見つけるツール
 - Google 探索開始のツール
 - 専門データベース 医学生物学分野における PubMed
- (4) オープンアクセス情報源の利用
 - arXiv の利用
 - その他の情報源

3. 新たな研究プロセスと情報行動

- (1) e-Research への関心
 - 研究プロセスにおけるデータ, 情報源
 - 機関リポジトリにおけるデータ公開
- (2) 新しいコミュニケーションツール
 - 研究者向け SNS の利用

4. 大学図書館のイメージ(期待する機能)

- (1) 「本」と図書館
- (2) 「buyer」としての図書館

- 1) Research Information Network. Researchers and discovery services: Behaviour, perceptions and needs. 2006.11, 113p.
- 2) Consortium of University Research Libraries; Research Information Network. Researchers' use of academic libraries and their services. 2007.4, 70p.
- 3) SCREAL(学術図書館研究委員会). 学術情報の取得動向と電子ジャーナルの利用度に関する調査 (電子ジャーナル等の利用動向に関する調査 2007. 2008.12, 62 p.
- 4) Primary Research Group. The Survey of Higher Education Faculty : Use of Print & Electronic Library Collections of Scholarly Journals. 2009, 77p.
- 5) Research Information Network. E-journals: Their Use, Value and Impact. 2009.4, 52p.
- 6) 倉田敬子, 他. 電子ジャーナルとオープンアクセス環境下における日本の医学研究者の論文利用および入手行動の特徴. Library and information science. 2009.06, no.61, p.59-90.
- 7) 松林麻実子, 歳森敦, 永田治樹. 日本の研究機関に所属する研究者における電子メディア利用実態 : ライフサイエンス領域の研究者を対象とした実態調査報告. 日本図書館情報学会誌. 2009.09, vol.55, no.3, p.141-154.
- 8) Research Information Network. Patterns of information use and exchange: case studies of researchers in the life sciences. 2009.11, 55p.
- 9) Research Information Network. How researchers secure access to licensed content not immediately available to them. 2009.12, 36p.
- 10) Harley, D, etc. Assessing the Future Landscape of Scholarly Communication : AnExploration of Faculty Values and Needs in Seven Disciplines. 2010.1, 733p.
- 11) Connaway, L.S. The Digital Information Seeker. 2010.2, 55p.
- 12) Schonfeld, R.C.; Housewright, R. Faculty Survey 2009: Key Statagic Insights for Libraries, Publishers, and Societies. 2010.4, 35p.

<講師のプロフィール>

土屋 俊 (つちや しゅん)

学歴：東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

専攻：哲学, 認知科学

職名：千葉大学教授文学部、千葉大学総合メディア基盤センター長

所属機関：〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学文学部

生年月日：1952年10月30日

電話：043-290-2277

FAX：043-290-2278

e-mail:tutiya@kenon.L.chiba-u.ac.jp

略歴

- 1975年3月 東京大学教養学部卒業
 - 1977年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（文学修士）
 - 1980年3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学
 - 1982年4月 千葉大学助教授（文学部）採用
 - 1994年1月 千葉大学教授（文学部）昇任
 - 1996年4月 千葉大学総合情報処理センター長併任（1998年3月まで）
 - 1998年4月 千葉大学附属図書館長併任（2002年3月まで）
 - 2001年6月 文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会専門委員（情報科学技術委員会）（2009年1月まで）
 - 2003年3月 文部科学省独立行政法人評価委員会臨時委員(科学技術振興機構部会)
（現在に至る）
 - 2003年6月 千葉県個人情報保護審議会委員（現在に至る）
 - 2003年11月 国立国会図書館科学技術関係資料整備審議会委員(現在に至る)
 - 2004年4月 千葉大学国際教育開発センター長併任（2005年3月まで）
 - 2005年1月 文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会専門委員（研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会）（現在に至る）
 - 2005年4月 千葉大学附属図書館長併任（2007年3月まで）
 - 2007年4月 千葉大学副理事（図書館情報担当）（2008年3月まで）
 - 2007年6月 大学評価・学位授与機構大学機関別認証評価委員会専門委員（現在に至る）
 - 2009年4月 千葉大学総合メディア基盤センター長（現在に至る）
 - 2009年4月 千葉大学副理事（情報セキュリティ担当）（2010年3月まで）
- 業績についてはWEBをご参照いただけましたら幸いです。

<http://cogsci.l.chiba-u.ac.jp/~tutiya/Publications/>

10 年後の大学図書館

土屋俊 (千葉大学)

1. そんな難しい予想ではない

1. 2020 年においては、大学図書館 (員) の研究支援機能はない
 - (a) 外部から導入する資料の大半が電子的に利用可能となるので従来の資料アクセス支援機能 (蔵書構築) はもはや大半が不要
 - (b) 機関リポジトリによる学内産出資料の収集保存発信はしているだろうが、それは「図書館」というよりは「出版」だ
2. 教育支援機能も失われているだろう
 - (a) 教育に必要な資料は教員が調達し、組織化し、提供できるようになる
 - (b) 既設の建物空間は学生が勉強する場所として存続するだろうが、それが図書館?
3. 教育機能だけが残っている
4. 教育・研究「管理」機能が追加されているかもしれない

この講演では、以上の結論に至った事実認識と若干の将来予想を述べる。

2. 大学図書館の将来を制約する諸条件

1. 研究支援機能を制約する条件
 - (a) 学術情報流通の構造 ⇒ 電子ジャーナル・機関リポジトリ
 - (b) 研究活動とその評価 ⇒ 論文業績中心主義
2. 教育支援機能を制約する条件
 - (a) 学術情報流通の構造 ⇒ 日本語出版の将来
 - (b) 大学教育の実施方法 ⇒ eLearning(distant, mobile)
3. 大学そのものを制約する条件
 - (a) グローバルな知識基盤社会における 21 世紀型市民の育成 ⇒ よくわからないけどこれが課題
 - (b) 大学教育の理念 ⇒ 「自立した問題解決能力」
 - (c) 「生涯学習」化 ⇒ 「18 歳選抜」から「年齢不問選抜」へ (労働市場との関係)
 - (d) つまり、「鎖国」指向はだめ、(悪く言えば) 知識の消費財化を利することができる社会の中堅の要請 (エリートを終焉) ⇒ 国際化 ⇒ 学校制度の国際的多様性・志願機会の多様化
 - (e) 少子化と前提学力の垂直分散 ⇒ 「上から合格」の形骸化
 - (f) ネットワーク世代学生への教育のあり方 ⇒ Gen Z の生態 ⇐ ユーザ実態調査のメタ分析
 - (g) 研究者が大学教師である必要はあるのか?
 - (h) 対面教育の限界と必要性、遠隔教育の可能性と限界 ⇒ 図書館の出番?
4. 科学研究そのものを制約する条件
 - (a) 一層のビッグ・サイエンス化 ⇒ 個人の学術的関心の結果とはいえない研究成果
 - (b) 「人類にとって唯一」の問題の解決 (疾病、環境、食料、戦争等々) ⇒ 計算的科学 (computational science) の重要性の増大
 - (c) 「業績」「研究成果」発表形式の本質的变化 ⇒ 論文 PDF では伝達できない (すでに、Article of

- future、オントロジ等々) ⇒ 論文(雑誌)に将来はあるのか?
5. インターネット社会からウェブ(?)上の知識基盤社会へという進展
 - (a) クラウド
 - (b) (i-mode と Kindle) ⇒ インターネット・アーキテクチャからの自由 ⇒ 真のウェブ・コミュニケーション(すでに萌芽はある)
 - (c) プッシュからプルへ

3. 大学図書館が自覚すべき将来

1. まず身近から考えて、OPAC/NACISIS-CAT/Webcat はどうなるのか?
 - (a) もちろん、なくなる(目録は、所詮持っているものの inventory)
 - (b) 機能的代替はどうやるのか? ⇒ 上流における目録作成(取次、OCLC)、ローカライズされたインターフェイス ⇒ 自館 ILS の限界 ⇒ しかし、機能的代替って?
2. (一部を除いて) 大学図書館の一次資料提供機能は不要となる(ナビゲーションはツールを買えばよい) ⇒ 80年答申構想の終焉 ⇒ それでも残る自館未所蔵所蔵資料の相互便宜供与は、外部業者とか、機関リポジトリによる研究(eScience)支援しかない ⇒ しかし、それは「図書館」? 誰が図書館員をやるの? いずれにせよ ILL は消える
3. 機関リポジトリはどうなるのか?
 - (a) なくなる。しかし、PDF リポジトリにとどまるなら科学の一部とはもはやいえない ⇒ 研究プラットフォーム化(ただし、商業出版社という強敵も参入)
 - (b) (さまざまな意味での) 評価への関与
4. 情報リテラシー教育・利用者講習はどうなるのか?
 - (a) 不要になるか、ちゃんとした「授業」になる(図書館員の教員化)
 - (b) 「講習」が必要なインターフェイスは、もやはインターフェイスたり得ず
5. ラーニング・コモンズはどうなるのか?
 - (a) 不要になる、というか、コンピュータ・クラスターはやめるほうが安全。利用者認証をいれた無線 LAN が一般的になるだろう。
 - (b) 問題は、そこがたんなる自習室でないということはどう実現するか ⇒ 図書館の教室化(教師に居場所を作る必要)
6. 雑誌契約はどうなるのか?
 - (a) 学術情報流通におけるウェブ技術活用が進展するにともなって、ページ付電子雑誌論文は、一種のメタデータ、最低のメモ、研究の残り滓と化す
 - (b) 多くの PDF はオープンアクセス(ないし、)になって、研究者は自分の環境を自分で買うようになり、その「ジャーナル環境」含まれるだろう ⇒ 雑誌の消滅
7. 図書購入はどうなるのか?
 - (a) eBook の導入は進むであろうが、どうなるかわからない ⇒ さまざまな形態
 - i. サイトライセンス ⇒ ウェブ技術活用教科書・教材
 - ii. サイトライセンス + POD ⇒ 伝統的教科書
 - iii. サイトライセンス(パッケージ? 貸出モデル?) ⇒ 学術モノグラフ
 - iv. 物品購入 + 保存・利用 ⇒ 学術研究資料(?)
 - (b) いずれにせよ、コンテンツ資源は外部にあり、ウェブ経由で導入するという形態へ移行 ⇒ 利用者(構成員? 受講者?) 認証で利用

